

しまなみぐるりんロード

8月12日(火) ~ 8月16日(土)

IN しまなみ海道(ザリガニくんオートキャンプ場、みやくぼ石文化交流館)

	午前	午後	夜
1日目	尾道に向けて出発	自転車講習 キャンプ場に移動	振り返り
2日目	向島へ出発	大島へ	振り返り
3日目	今治駅へ	折り返しスタート	振り返り
4日目	因島へ	尾道港にてゴール	外食タイム
5日目	振り返り・施設を出発	解散	

一日目: 昨夜まで悪天候が続きましたが、なんとか雨は止み、無事にキャンプは開催出来そうです。尾道に全体集合した後、尾道へ出発しました。道中長いので、グループのメンバーの名前覚えやコミュニケーションを取り、仲を深めました。またレクリエーションなども行い、楽しく向かいました。昼食は途中のSAにて済ませ、午後からはグループの【目標決め】をしました。五日間かけて、自分達のグループはどのようになっていきたいかを話し合い、設定しました。その頃には尾道市内に入り、海が見えてきました。尾道に到着すると、すぐにレンタサイクルへ向かいました。利用する自転車を借り、走行練習をしました。皆、普段から自転車に乗り慣れているかと思いますが、今回は集団で走ります。縦一列で走る練習を尾道市内で行いました。ペースの早い人、遅い人、咄嗟の判断に反応が遅れている人など、様々な方がグループにおられるので、皆で合わせる事への難しさを感じておられました。練習を終え、本日の宿泊先のキャンプ場へ向かいました。テントを建て、夕食を済ませた後、今日の振り返りと、明日の目標設定をしました。当キャンプでは、ただ走るだけではなく、お昼に設定した最終目標に向かって話し合う事も大切にしています。なかなか意見や想いがまとまらず、四苦八苦されている姿が伺えました。こうして確固たるグループを形成し、明日からの走行に繋げていただきます。



二日目: 朝早くから準備開始です。テントで寝付けなかった方もおられたようで、少し眠そうな様子が伺えました。着替え支度をし、テントの片付け、朝食を済ませ、早々にキャンプ場を出発しました。今日からしまなみ海道往復がスタートします。尾道港から渡船に乗り、初めの島“向島”に到着しました。ここからひたすら漕いで、今治駅を目指します。自転車初心者はおられず、体力とやる気に満ち溢れているので、ペースは非常に早いです。声掛けや周りへの気配りも自然に出来ており、スムーズに進んでいます。三つ目の島、“生口島”に着き、昼食を取りました。スーパーで各自食べたいものを選べたので、食べている時の様子は笑顔いっぱいでした。食事中もペースの話や並び順、次の島の話などをしました。しまなみ海道はサイクリングの聖地でもあるので、所々に記念碑やオブジェがあります。また、レモンが名産なので、そうした場所に立ち寄り、写真に納める楽しみも感じておられました。どのグループもとにかくペースが良く、予定よりも早く目的地の施設に到着しました。疲れが一気に出てきたようで、空調が効いた部屋に入ると「疲れたー!!」と本音が漏れていました。ゆっくり入浴を済ませ、夕食を済ませ、今日一日の振り返りをしました。自分達の走りを見直し、出来た事、出来なかった事、次に繋げたい事を就寝前までしっかり話し合いました。意見がぶつかる事も増え、時には陰鬱な空気が出てくる時もありますが、それだけ皆真剣に取り組まれている証拠です。積み上げては崩れを繰り返しながら、グループを創り上げます。



三日目: 今日折り返しの今治駅まで向かいます。今治市までは距離はそこまで遠くないので、朝はゆっくり支度をし、朝食を済ませ、出発しました。宿泊施設は大島の一番高いところに位置しているので、次の橋まではひたすら下りとなります。隊列を崩さないよう気を付けながら、一気に駆け下りました。風を切る感じで走って、とても気持ち良さそうでした。坂を下りきると、目の前にこれまでの橋とは比べ物にならないほど大きな、“来島海峡大橋”が見えてきました。橋まで登るのが大変ですが、橋を走ると今まで一番気持ち良く、颯爽と走る事が出来ました。橋を渡りきると今治市内に入ります。これまで走ってきた道とは異なり、車や人の往来



が多く、今まで以上に気を引き締めて走りました。そして、ようやく折り返し地点の“今治駅”に到着しました。皆の様子は、喜びから笑顔が溢れていました。駅前で昼食を取り、少し休憩をしたら復路に向けて出発です。皆のペースが早く、時間に余裕が出来たので、少し今治市を観光して戻るグループもありました。復路は往路と同じ道走るのですが、全てが逆転するので、新しいルートを走っている感覚になります。そのため飽きずに走る事が出来ました。施設に到着した時間も早く、この日は前日までに比べて、振り返りや夕飯にゆっくり時間を掛ける事が出来ました。三日目の振り返りとなると、これまで発言が少なかった方の口数も増え、意見に厚みが増してきました。その分、フラストレーションも増し、話し合い中に意見のぶつかり合いも増えてきました。明日が走行最終日です。より一丸となり、想いを一つに完走を目指しましょう！！



四日目： 今日復路最終日です。朝からどこか緊張の雰囲気が漂っていました。身支度と朝食を済ませ、昨夜詰めきれなかった振り返りと目標設定を完了させ、準備万端です。施設前にて全員で気合を入れ、スタートしました。長距離を走り、確実に疲れているにも関わらず、本当に速く、引率のリーダーが休憩を促すほど凄まじい勢いで走りました。ひたすら前を見て、猛進しているかと思いきや、信号や対向車が来た際は声を掛け合っておられました。我々が言う前にメンバー同士で意識されている姿から、この期間で目覚ましい成長をされたと思います。あっという間に昼食ポイントまでやって来ました。自転車から降り、昼食選びの時は緊張がほぐれた表情を見せておられました。食後は、自分達から「食べたから行こう！」と率先して走り出しました。最後の島“向島”に到着し、渡船場近くのスーパーで休憩を挟み、皆で合流した後、乗船しました。そして、ついに尾道港に帰ってきました。特に怪我や事故なく、全員元気に無事に帰って来ることが出来ました。この時のみんなの表情は、本当に晴れやかで、達成感いっぱい笑顔でした。三日間一緒に走った自転車に別れと御礼を伝え、返却した後、夕食を食べに“福山SA”に向かいました。各々食べたいものを選び、召し上がっていただきました。夕食後は、施設に戻り、入浴を済ませ、振り返りは翌日に回し、この日は寝ました。疲れと緊張が一気に押し寄せたのでしょうか、消灯後、すぐに寝息が聞こえてきました。本当にお疲れ様でした。

五日目： これまでの朝に比べ、この日はゆっくりとした目覚めでした。朝食は、残った食材から、各自が食べたいものを作りました。食後は昨日出来なかった振り返りです。この振り返りが今回のキャンプでみんなが得た内容となります。初日の自分達の様子から振り返り、何が一番大切なのか、何を感じ得たのかを話し合ってくださいました。振り返りが終わると、お世話になった施設に御礼を告げ、バスは出発しました。これまで走った道を颯爽と通過します。外の景色を見ているメンバーがおられました。もしかしたら、ご自身の走りを思い出しておられるのかもしれませんが。バスは昨夜訪れた“福山SA”に再び来ました。ここで、昼食とお土産を購入します。昨日までの緊張はなく、終始和気あいあいな雰囲気でした。そして、SAを出発し、尼崎へ向かいました。しまなみ往復走破を通して、しっかり仲間意識が芽生え出来たようで、最後まで仲良く談笑をし、解散時はお互い別れを惜しむ姿が伺えました。



<キャンプ総括>

しまなみ海道往復旅は、大きな怪我や事故、体調不良なく、皆元気に終えることが出来ました。四日目の報告でもお伝えしましたが、お互い注意を促し、体調を確認し合っていた賜物であります。自転車キャンプは大人の注意意識はいつも以上にアンテナを張り巡らし、緊張を持って取り組んでおりますが、それでも限界はあります。その限界を補うのが【メンバーの意識】です。それが高ければ高いほど、今回のように安全、健康にキャンプを遂行する事が出来ます。今回、ご参加いただきましたメンバー皆さんの意識は、過去最高レベルでありました。皆さんには本当に感謝致します。逆に怪我や事故が起こる場合は、キャンプ全体の危機管理能力が衰えていると認識しています。最後の意識判断はご自身になります。参加者皆さんに意識付けを怠らせない事も我々の大きな責務であると、これからのキャンプにおいて伝えて参ります。

(竹中 哲郎)